



でん

でん

つなげよう 広げよう 子どもを育てる”輪”

伝々ニュース



2012-1号

事業案内版

2012年7月 発行

でんでん理事談

子どもたちのために、これからやっていきたいこと

私が子どもの頃、家や学校以外に「よりどころ」にした場所がありました。駄菓子屋のおばちゃんとおしゃべり、アイス屋のおじちゃんとおしゃべりをする。小銭をにぎってワクワクしながら買い物をし、おばちゃんたちとちょっとおしゃべり。昔は商店街や地域の大人の中で子どもが育っていました。今はそういう環境が少なくなり、子どもはコンビニで駄菓子を買ってゲームを持って公園で遊んだりする姿を多く見かけます。

自分が大人になり、我が子が一人で出かけるようになると街は抵抗を感じる環境だと感じました。ニュースで子どもが被害にあう事件が報道されたり、近隣でも不審者の出没が頻繁に知らされます。私は自分が子どもの頃にしてもらったように、商店街や地域の中で両親以外の大人の目で見守られる環境で子どもを育てたいと思うようになりました。

しかし、子どもの頃にあった「よりどころ」になる場所は既になくなってしまい、とても寂しく思っています。私は子どもが見てから地域活動に参加するようになり、子育て支援に興味を持つようになりました。大人になり、子どもができた時「あそこに行けばいい」と思いだし、戻っていける場所をいつか自分で作れたらと考えています。いつもそこにあって、何なくてもただ話したり、何かあったとき、共に考え、寄り添ってくれる場所「よりどころ」を大人から次の世代、そのまた次の世代に残していく考え方を考え、私はこれからも地域で活動をしていこうと思っています。

副理事長／事務局長 長田真知子



——あかちゃんは母親との肉体のつながりから離れ、新たな心のつながりの中へ出発する。

無力に見える新生児も実は人と関わろうとする積極的な動きを見せる。(野村庄吾) ——

「自ら強く訴えることができない乳幼児の代弁者になれたら私は幸せ」と常々思っています。そのためには、いかに子ども達に寄り添えるかが問われ、日々大人としての余計な考えを取り払い心の目を開いているかが試されています。全てを信じ受け入れることが大切ではないでしょうか?自分を信じてくれるからこそ子ども達も正直に自分を表現できるのだと思います。自分自身と他者への信頼、これこそが乳幼児期に重要であり、人として生きていく「根」であり、「命」を培うことだと思っています。

「あなたはあなたでいい」。皆、違うから素晴らしいということを子ども達にも子育て中のご両親にも伝えたいです。「完璧な親も完璧な子どもも存在しない」のです。失敗しても大丈夫、そのままでいいよ、ゆっくりでいいからね、見えないものこそ大切という私の考えを子育てのおしゃべりの輪の中で伝えていきたいと思っています。自分の未熟さに向き合いながら子ども達と同じ目線に立ち、自ら育つ子ども達の力を信じて私も共に成長していくことを願っています。

でんでん保育室担当理事 竹田絹代



私が子どもたちに願っているのは、『自分に自信を持った大人になって欲しい』ということです。

自信というのは、自分を信頼できるということ。自分の長所を知り、自分のペースを知り、自分なりの努力ができるということ。自分の積み重ねた努力の成果を、のちに迷った時の寄りどころにできるということ。時にくじけても希望を見失わず、何度も立て直しをはかろうとあがけること。

この基本姿勢をできるだけ身につけて成長していけば、人生で出会う様々な問題にも、前向きに対処していくのを信じています。そのために、日々子どもたちの長所を見つけては褒め、子どもなりのペースを尊重し、努力できたことに感嘆し、成長を喜び、励まし続けたいと思っています。言うは易し行うは難しく、私自身が自分を信頼出来ていなければ説得力はゼロですので、まず自分が努力をしていかなければ話になりません。子どもは大人より余程努力家なので、ぼやぼやしていると置いてきぼりをくられます。

子どもの生きる姿勢を私の師匠としながら、毎日真剣に、でも楽しく面白く、これからも一緒に頑張っていきたいと思っています。

学習サポート教室担当理事 矢作陽子

編集 発行



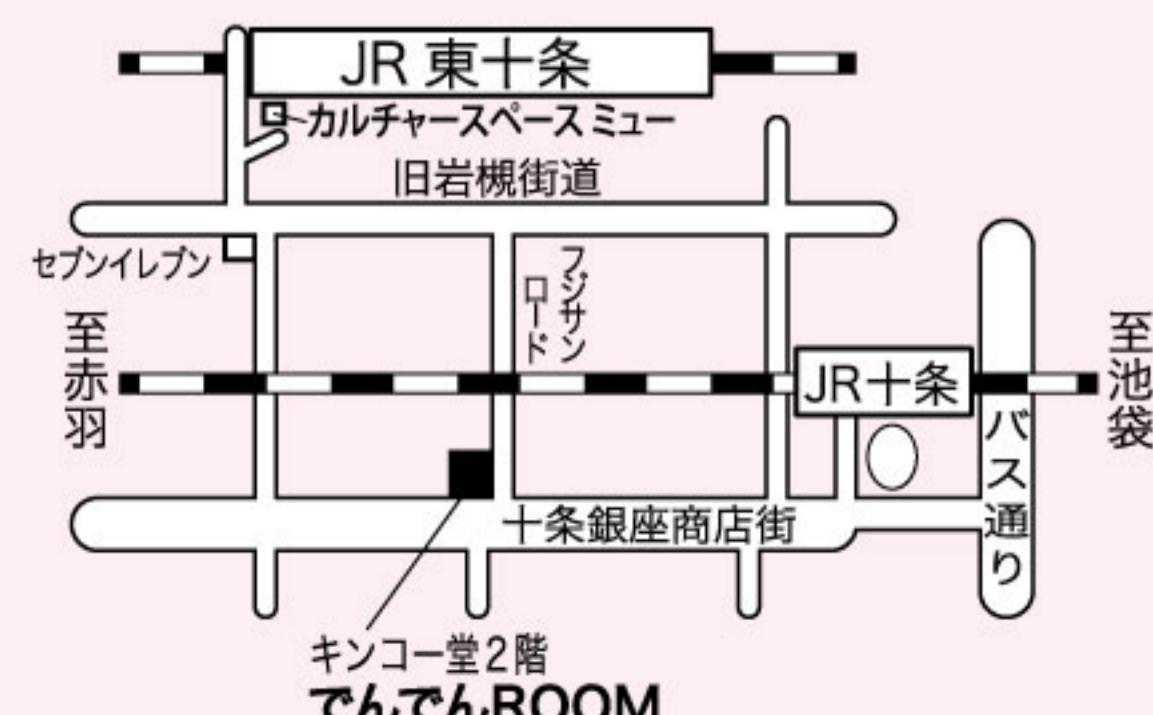
特定非営利活動法人
でんでん子ども応援隊

所在地 : 〒114-0031 北区十条仲原 1-27-3

TEL&FAX : 03(3905)2355

mail : kids@dendenroom.or.jp

Homepage : <http://dendenroom.or.jp>



学習サポート教室



NPO法人だからこそできる 個別対応のサポートをします

子どもの心のシグナルを受け止めながら、ていねいにサポートする学習教室です。好きなこと、できることから始め、セルフ・エスティーム(自尊感情)を育てていきます。

コーチングによる《共学》《楽学》《自学》《自立》をめざします。

学習サポート教室は、でんでん子ども応援隊の中心的な事業です。

この教室は、学力向上はもちろんのこと、子どもたちの日常に大きく影響している、いじめ・不登校・学級崩壊・発達障害などの問題に取り組み、学習を通じ子どもたちを育む「居場所・寺子屋」です。生徒1~4人に対し1人のセンターがつき、小さな班のように分かれて、きめ細かに対応しながら学習していくというスタイルをとっています。

子どもたちの学びの場は、地域に住む大人や子どもが互いにかかわりあって暮らしているコミュニティの中にこそ在ってほしい。ですから営利目的の学習塾にはせず、あくまで非営利の地域活動をベースにして「でんでん学習サポート教室」はつくれました。ここでは、おやつの差し入れがあったり、おしゃべりが弾む時もあったり、悩みや弱みを打ち明けたり…。時には厳しさもありますが、安心感や温もり、信頼関係が育まれていきます。人とのかかわりの中で楽しく学ぶと、家庭での学習も充実します。

でんでん学習サポート教室のセンターは、LD特別支援教育士、臨床心理士、心理学履修者、大学・高校生、主婦などです。子どもたちの学ぶ権利も含め、<子どもの権利>を保証すること、社会に対し発言する機会のない子どもたちの代弁者になることを常に心がけ、研修し支援力の向上に努めています。

時間帯／料金等

小学生…読むことを楽しみながら自学・自習の基礎を築きます

算数・国語・理科・社会・英語

○時間：火曜日～金曜日 16:30～17:20/17:30～18:20

○費用：月額 5,250円 (2コマ/週)～10,500円 (4コマ/週) (税込)

子どものニーズに合わせて様々な取り組みをします（土曜日 予約制）



中学生…自分の力で学習することを覚え、センターに支えられながら、粘り強く知識を習得していきます

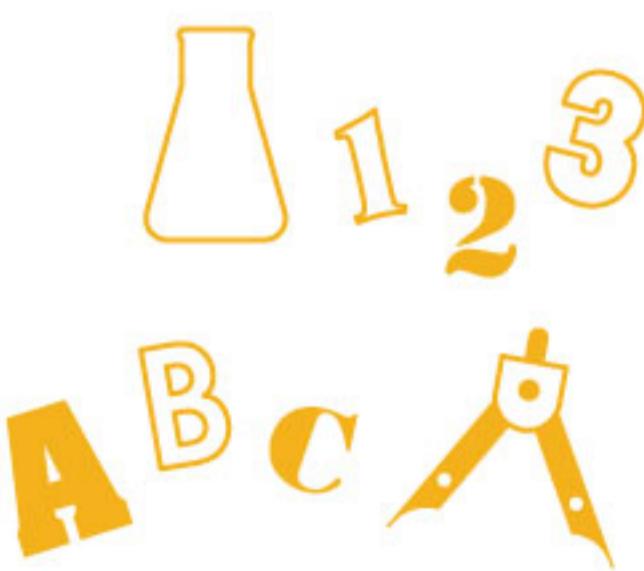
数学・英語を中心に、得意科目の充実／苦手科目の克服！

中3では高校受験のサポートも行います

○時間：火曜日～金曜日 18:30～20:00

○費用：月額 14,700円 (1コマ90分×2日/週) (税込)

○受験指導プラス 2,100円(税込) 4～5日/週の指導を行います



特別ニーズに対応したコース…LD、ADHD、高機能自閉症児など、ご相談下さい（土曜日 予約制）

でんでん学習サポート教室のコンセプト&入会プロセス

Step 1 まず、見学・ご相談を

Step 2 4回の無料体験

4回の無料体験で、当会の学習方法を体験してください

Step 3 入会

体験内容をもとに、保護者の方と相談、お子さんの意思を確認したうえで入会を決めます



コーチングによる
サポート

ともにまなぶ
共 学

サポーターとの信頼を築く

- ・自分を心から大切に思ってくれる大人の存在があって、安心して学びに向かうことができる
- ・子どもとサポーターや子どもどうしの信頼関係をつくることを大切にする



共感し、見守りながら…

みずからまなぶ
自 学

楽しく繰り返せる力は本当の力となる

- ・積み重ねによって、しっかりとした学力が身につく
これは分かっていても誰にとってもつらいもの
- ・同じことの繰り返し、"学ぶこと"が楽しくなるようサポーターが工夫して、次の自学のステップへと導きます

自分の目標に向かい、いきいきと学ぶ

ひとりだち

自 立

達成感

- ・できると思っていたことでも、思わぬ所でミスをするもの
- ・ミスを繰り返すなかで、ねばり強さが育ち、集中力が出てくる
- ・自分の力でがんばり、達成感へつながる

自尊感情の芽生え

- ・自尊感情が芽生え、友だちと学び合い、他者を尊重できる

学習サポート教室 ❤ サポーター紹介



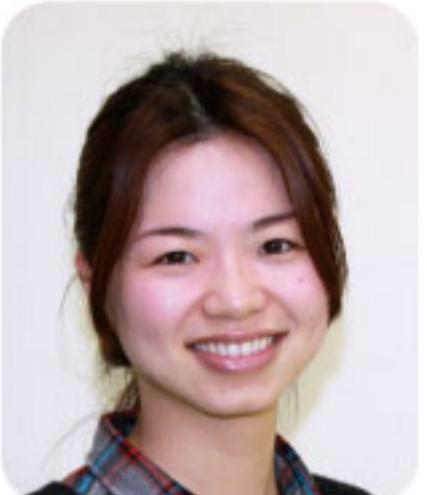
豊原きよみ
理事長・室長
特別支援教育士



矢作陽子
担当理事



辰巳美鶴
副室長



石黒美衣
臨床心理士



西山智子



竹腰雅子



渡邊千鶴子



林嵩広



織田知理



小林千夏



村井裕助



小島諒子

でんでん保育室



働いていなくても週1日～4日間子どもを預けられます

3つの保育目標

①「子どもの気持ちに寄り添う」

一人ひとりの発達、発育に応じたきめ細やかな保育を心がけます

②「家庭的な保育」

安心して無理無く過ごせる時間と環境を大切にします

③「心通い合う子育ての場」

保護者と保育者との連携を大切にします

朝のでんでん保育室、お父さんやお母さんと一緒にガラス越しに、大きい手のひらと小さい手のひらを合わせ、バイバイタッチをする姿は、とても微笑ましい光景です。毎回笑顔で「いってらっしゃ~い！バイバ~イ！」とはいきませんが、ガラス越しにでも感じる温もりや、泣きながらでも父母の胸の中でギュ~っとされる安全感は、子どもにとってかけがえのないものです。

今年で三年目に入った、でんでん保育室。

保育園の待機児童解消を目指し、働くお母さんの保育のお手伝いをする事はもちろん、働いていなくても自分の時間が少しでも欲しい、資格を取るために勉強する時間がほしいなど、ニーズはますます増えています。そして、子育てからくる不安・孤独・ストレスなどを抱え込まず、リフレッシュすることで、親も子も楽しく過ごせる時間を増やしてほしいと思っています。

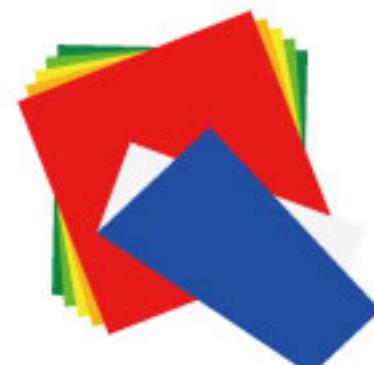
本年度も、子どもたちだけでなく、お母さんお父さんの笑顔がたくさん見られるように願って、スタッフ一同がんばって参りたいと思います。



お散歩(外遊び)の様子

時間帯／料金等

- 対象年齢：3歳未満の乳幼児
- 定 員：10名／日
- 日 時：火曜日～金曜日 9:30～15:30
- 費 用：
 - 週4日ご利用の場合 月額 44,100円(税込)
 - 週3日ご利用の場合 月額 33,600円(税込)
 - 週2日ご利用の場合 月額 23,100円(税込)
 - 週1日ご利用の場合 月額 12,600円(税込)



でんでん保育室 ❤ スタッフ紹介

竹田絹代 担当理事 びいちゃん



娘、息子達を
育てながら
様々な経験をし
親になりました。
育ち合える幸せが
子育てだと思います。

相澤智美 室長 ともりん



小学6年生の娘
ももちゃんと
2歳のハムスター
きいちゃんの
ママです。
絵本大好き。

小池智世 いけちゃん



子育ては
あっという間！
息子と最後の
小学校生活を
楽しんでいます。

日比野瑞江 みずちゃん



高校3年、
小学6年、
2人の女の子の
母親です。

高橋梅代 うめちゃん



高3の娘と
時々来ている
中1の娘の
母です。

米満久江 よねちゃん



子供の頃は
男勝りで
お転婆な遊びが
大好きでした。
今はでんでんの
子供たちとの
公園遊びが楽しみです。

鈴木弘子 すずちゃん



三人の子どもたちに
身長を抜かれました。
長女マーチングバンド
長男バスケットボール
次女ミュージカル
その応援楽しんでいます。

渡辺典子 のりちゃん



小6女の子と
小3男の子の
ママです。
最近は折り紙に
興味あり！

富田まこと まこちゃん



12歳から
1歳まで、
3児の子育て
奮闘中！

西希 のぞみちゃん



小学2年生と
幼稚園年長の
姉妹の母です。
お菓子や
パンが好きで
最近パン教室に
通っています。

宮下千絵 ちえちゃん



4歳の娘・
2歳の息子の
年子の母です！
生まれも育ちも
十条です！



ひろば・一時預かり

**買い物、通院…
「ママのための時間」にご利用ください**

託児時間：火～金曜日 9:30～3:30の間

利 用 料：1,050円(税込)／1時間

対 象：0才～未就園児 まず、ご相談下さい

会員登録：ご利用に当たっては、事前に会員登録が必要です

身分証明書持参のうえ「でんでんROOM」にお越しください

ご 予 約：スタッフ配置の都合上、必ずご予約の上ご利用ください

絵本を読んだり、おもちゃで遊んだり…
のびのび楽しくお預かりします



| 十条銀座商店街のJスタンプシートでの特別利用ができます |

* Jスタンプ1シート(500円分)で1時間分(通常預り料1,050円)の保育サービスが利用できます

①利用券は、商店街事務所にてJスタンプと交換いたします

②Jスタンプ公印と有効期限の日付印が押された利用券をでんでんROOMでお渡しください

③一時預かりサービスのご利用に当たっては、あらかじめでんでんROOMに利用登録をしていただいたうえ、
予約をしてください

*有効期限が過ぎた利用券は、商店街事務所にて新たな日付の利用券と交換できます

子どもクラブ

これまで積み重ねてきた人的つながりを活用して講師を組織し、預かった子どもたちの個性を認め豊かに伸ばすクラブ活動を行っています。

書道教室では”筆をにぎり文字を書くことを楽しむ”をモットーに、集中力を育みます。しっかりと、たくさん書きましょう！



書道教室の様子

●対象：小学1年生～中学3年生

●書道教室：月3回、月曜日17:00～3,000円(税込)／月

●パソコン：月2回、土曜日13:30～3,000円(税込)／月

●場所：でんでんROOM

書道教室



堀口玲子先生
えんぴつクラブ主宰



増田幸子さん
アシスタント

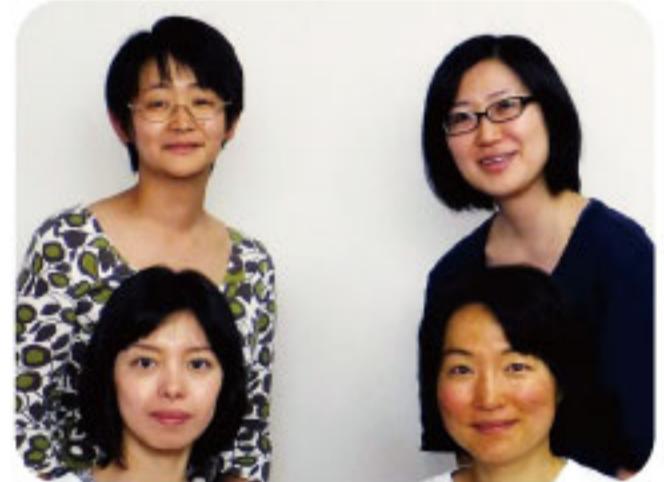
パソコン



木村松夫先生



稻野展司先生・太田ゆみ子先生



講座の生徒が運営スタッフ

でんでんネットワーク 団体賛助会員

でんでんネットワークとは、賛助会員の団体会員さんとのつながりを活かし、それぞれの団体が情報交換をしたり、より良い地域作りのために連携をして活動しているものです。

■団体賛助会員の一覧(順不同・敬称略)

カルチャースペース ミュー／北区で子どもの遊ぶ場を作る会／グランフィーノ／プカプカ音楽教室(松波里香)／ほっと村／(株)早稲田セミナー／そらいろの種／メンタルクリニック赤とんぼ(高橋えみ子)／中国伝統武術 掌友会(江口博)／ヨガ教室(高木友紀子)／フラメンコ教室FERIA(甲斐みよこ)

今回は上記団体さまの内、2団体をご紹介します。



●フラメンコ教室FERIA
十条商店街のイベントに参加いただきました



●北区で子どもの遊ぶ場を作る会
プレイパークで遊ぶ子どもたちの様子です

団体賛助会員のみなさま、いつも本当にありがとうございます。
これからも、どうぞよろしくお願ひいたします！

子連れOK講座

月に2回、主に乳幼児を連れたママを対象にゴスペル講座を開いています。ヴォーカルの太田ゆみ子先生とピアノの稻野展司先生がとても丁寧に指導してくださって、初心者の方も楽しく歌っています。

子どもたちは曲に合わせて一緒に踊ったり、キッズスペースで遊んだり、赤ちゃんは寝ちゃったり、そんなかわいい姿を見ながら歌える温かい雰囲気の講座です。



講座のレッスン風景

●月2回、月曜日10:20～12:00

●参加費：1,050円(税込)／1回

●場所：カルチャースペースミュー

センター事務局 スタッフ紹介

昨年より急速に活動が活発になり、事務局の体制を強化するため、本年度よりセンター事務局を発足させました。まだ未熟な私共ですが、温かく成長を見守っていただければ幸いです。



長田真知子
事務局長・副理事長



関口良孝

でんでんじいじの
一言うんちく

北区との協働3年目を迎えて…

これからのボランティア・市民活動



●歴史の浅いボランティア・市民活動

センター事務局 運営センター 木村松夫

昔から篤志家が行うものだとされていた「社会奉仕活動」が誰でも参加できるボランティア活動として定着してきたのは、日本では1980年代の後半からでした。90年代に入って、ようやく各地の社会福祉協議会の中にボランティアセンターが開設されるようになったのだから、その歴史はまだ30年ぐらい。浅いものです。「社会奉仕活動」はもともと社会的な地位を築いたゆとりのある人が行なっていたのでボランティア活動も無償が原則、普通の人には出来ないことをやってきたので活動を行うとなんとなく偉い人になった錯覚と、行政という権威への依存体質を残したまま現代につながってきました。

1990年代といえば、戦後の目覚しい高度経済成長のバブルがはじけて、日本の経済が長期低迷を始めた時代。これまで、「国民の暮らしと福祉は国と自治体が責任を持って行うから任せておけ」と、役所主導の国民生活づくりをつづけてきたのが、そもそもいかなくなって「民間の活力の活用」を言いましたのもこの頃でした。

●行政主導と依存は変わらない

最初は民間企業の行政施策への参入。こっちのほうが安上がりにできるから。つぎに、福祉分野で民間福祉法人が参入。いまではボランティア・市民活動団体を相手に「協働」でいきましょうと、相手にする対象が地域住民に下りてきているのが現在です。

でもね、役所主導で、住民はそのお手伝いという構図は変わっていないんです。おまけに、お手伝いする人は自分のやりたいことを実現する場としてボランティア・市民活動を捉えるようになってきているので、かえって始末が悪い状態になってきています。

●市民が主人公で行政は応援団へ、関係転換を

もともと、地域社会というものは、そこで暮らす人々みんなが力を出しあってやってきたもので、「自治」が原則。役所の力はあとからついてきたもの。混迷を深めるこれからの時代はなおさら、役所に頼ってやっていくことが出来ないことははっきりしているのだから、「自治」の原点に戻って、行政と市民の関係逆転を図っていくないとどうにもならないと思います。

そのためにも、自分のやりたいことの実現のために行う「市民活動」はもうやめよう！会計や会議、広報活動など運営の側面でもサークル的なあいまいさは許されません！社会の目にさらされても耐えうるような運営を行なっていかなくてはならないと思います。

役人は上から目線で仕事をするのではなく、どうしたら住民主体の地域づくりができるのかを真剣に考えて欲しい！今、呼ばれている「協働」って、そういうことじゃないかと思うんです。

でんでん子ども応援隊は、任意団体時代からいろいろな人や団体と結び合う地域ネットワーク活動を進めてきました。運営センターになった木村は、これまでの実践と経験を活かし、これから次代を担う市民団体づくりの応援に力を入れていきます。



子ども・子育て応援隊の活動にご協力ください！

●正会員として…

でんでんの事業の担い手として、運営にも
関心を持って活動していただける方
年会費(個人)…5,000円

●賛助会員として…

でんでんの活動を支援していただける方
年会費(個人)…1,000円以上
年会費(団体)…5,000円以上

●利用会員として…

でんでんの通年事業を利用される方
年会費…4,500円
半期…2,500円

当法人へのご寄付を募っています！

ボランティア歓迎！

●ご寄付などのご送金には郵便振替口座をご利用ください

口座番号:00140-0-708003

口座名:特定非営利活動法人 でんでん子ども応援隊

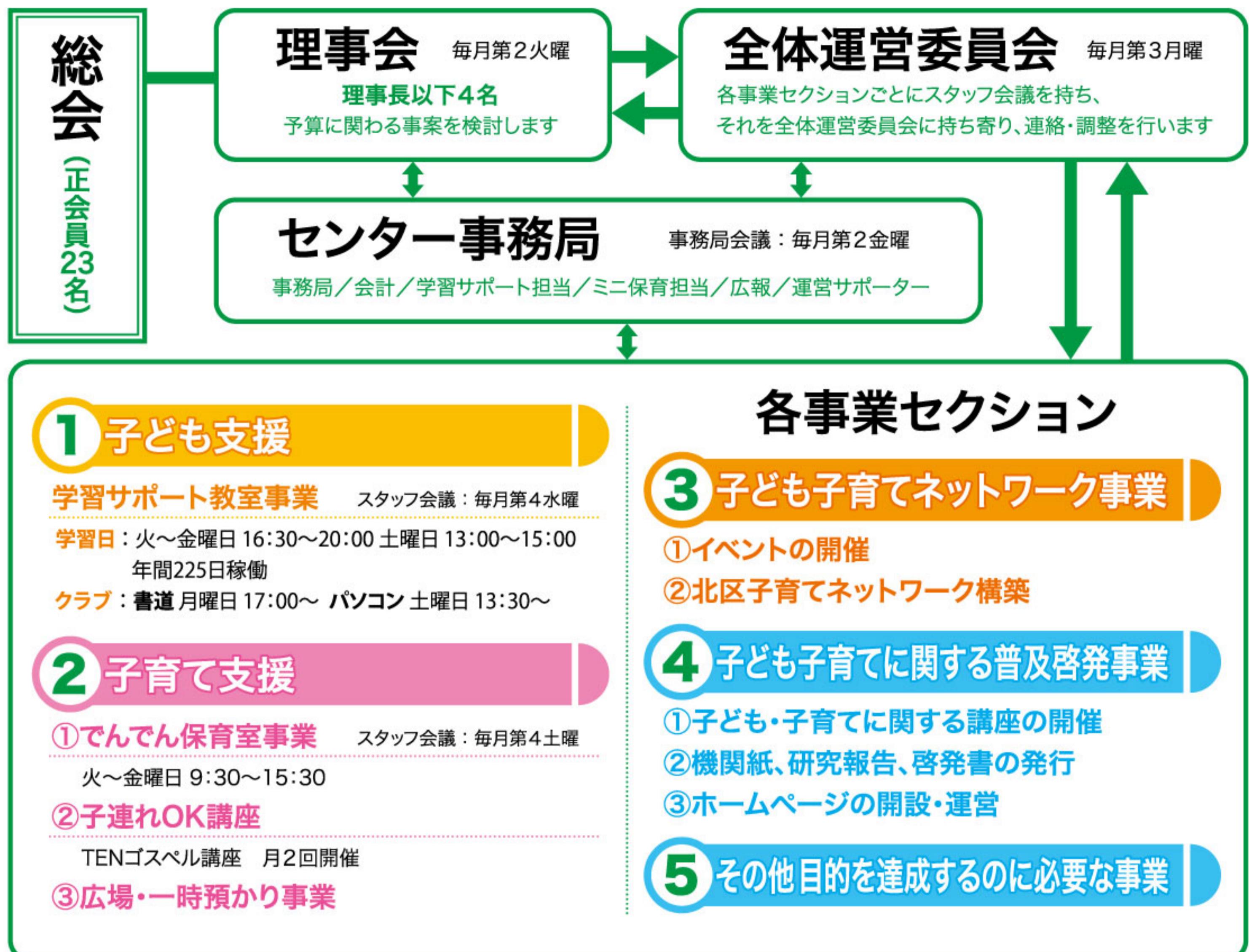
●定年退職をされた方へ

通年事業をサポートしてくださる
ボランティアを募集しています
協力くださる方、ぜひご連絡ください



事業の中心的担い手は子育て中のママ
皆で助け合い支え合って活動しています
(写真は運営委員会)

NPO法人でんでん子ども応援隊 会議と運営体制



地域の方々の温かいご協力によって、でんでん子ども応援隊の活動は支えられています

●● キンコー堂さんありがとう！ ●●



理事長 豊原きよみ

最初は自宅のキッチンから始まって活動拠点を転々とし、3年前に今のキンコー堂さんの2階に引っ越ししてきましたが、今、良い大家さんに巡り会えることがどんなに大事なことかを実感しています。いろいろな便宜を図っていただいているばかりではありません。社長の辻さんは十条銀座商店街振興組合の理事を務めていらっしゃ、「キンコー堂さんの2階です」と言うだけで、みなさんが安心してくれるのです。地域のみなさんに頼られ慕われる子ども・子育て支援活動を広げていくうえで、良い家主さんのテナントになっていることの意味は大きいのです。

キンコー堂さんは十条銀座の今日を築いてきた老舗の洋品店。幅広い年齢層に対応したリーズナブルな商品にサイズも多様な品揃え、道路から段差なく続く店内は通路が広く、車いすの利用者もゆったりと品選びが出来るのも大きな魅力。まちの活性化のために、これからも益々ご繁盛していただきたいお店です。

キンコー堂さん、ありがとうございます！ これからもよろしくお願ひいたします。